

2023年トルコ・シリア地震と東アナトリア断層系：長大活断層の連動確率評価と検証

産業技術総合研究所活断層・火山研究部門 近藤久雄

ポイント

- GSJ-MTA 国際共同研究により 2014 年に調査したトレンチ（溝）が 2023 年 2 月 Mw7.8 の地表地震断層によって変位。調査したトレンチが実際の地震で明瞭にずれた例として、世界で 3 番目の事例
- 地震前後のトレンチ壁面を詳細に比較するため、2023 年 10 月に再掘削調査を実施し、2023 年地震に伴う地層のずれと断層の進展を確認
- 今回の調査結果と歴史地震による平均再来間隔、最新からの経過時間をもとに、地震前の 30 年発生確率は 35% と高かったことを初めて具体的に提示

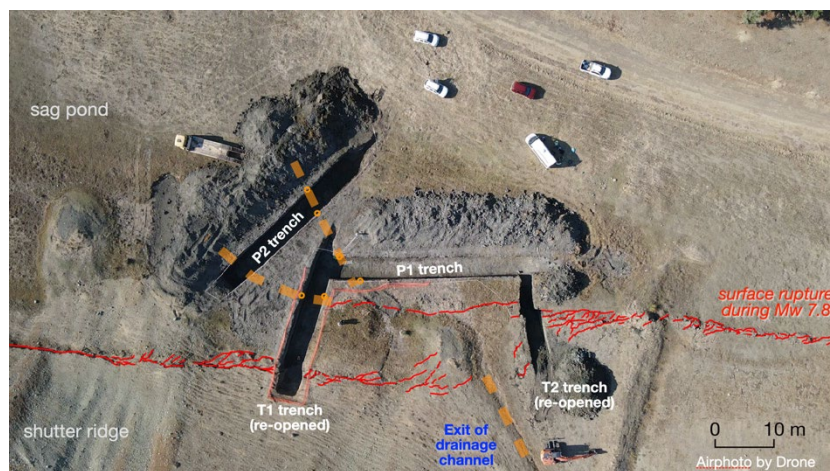


図1 2023年 Mw7.8地震に伴う地表地震断層と地震後の3D トレンチの位置。T1 トレンチと T2 トレンチが 2014年に調査していたトレンチ。

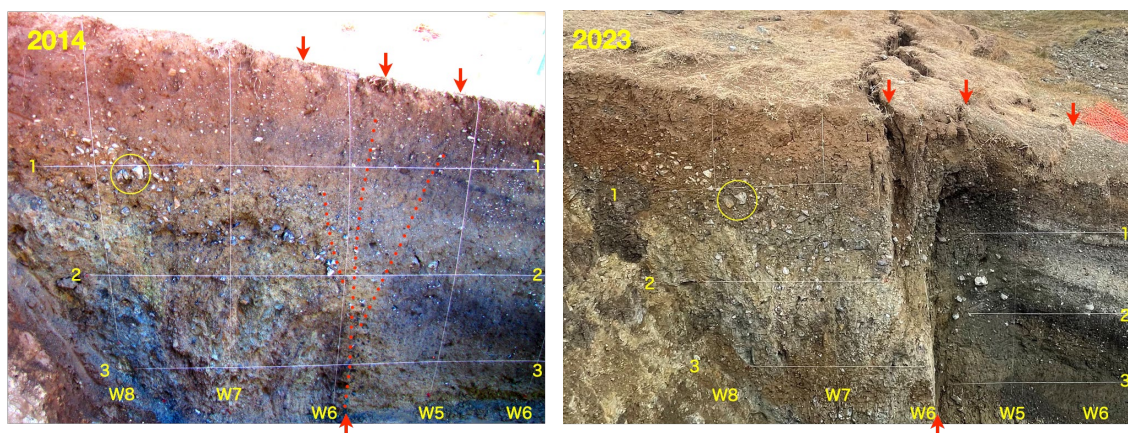


図2 2014年調査時と2023年地震後のトレンチ壁面（T1西壁面）の比較。赤矢印と赤破線が活断層・地表地震断層の位置。黄色数字はグリッド番号。